



八王子市長 石森考志

子どもたちの思いをつないで

八王子市は、平成 29 年に市制施行 100 周年を迎えました。平成 28 年度のプレ記念事業に始まり、平成 30 年 2 月 4 日に開催した「子どもミライフオーラム・グランドフィナーレ」まで、この記念すべき節目を、市民の皆様とともに祝い、本市の魅力を広く知っていただく様々な記念事業を行ってまいりました。日頃より、地域で子どもたちの健やかな成長を支えていただいている皆様をはじめ、記念事業に御協力、御参加いただきました多くの皆様に御礼申し上げます。

本市は、豊かな自然や歴史、伝統が息づく由緒あるまちであるとともに、新しい時代を切り拓く活力にあふれるまちでもあります。この魅力あるまち八王子に生まれ育つ子どもたちが、八王子を愛し、まちへの関心を高めることを願い、記念事業を展開するにあたっては、子どもたちの参加を何よりも大切にまいりました。

この「子どもたちの提言・作品集」には、まちづくりへの提言や作文、絵画など、子どもたちが表現した八王子への思いが詰まっており、一人ひとりのあふれる郷土愛や豊かな感性に、心を動かされます。これらの思いを、私たち大人がしっかりと受け止め、市政に活かしていかなければなりません。

また、提言や作品とともに、子どもミライフオーラムに参加した子どもたちがつづった未来の八王子へのメッセージを、未来につなぐ夢・希望として、富士森公園こども広場のタイムカプセルに収めました。タイムカプセルは、今の子どもたちがまちづくりの主役となる 30 年後に開封いたします。ここに収められた子どもたちの思いが、未来へとつながり、八王子の次の 100 年のさらなる輝きへと導いてくれるものと信じております。

結びに、日頃より子どもたちの育ちを支え、今回の子どもたちのまちづくりへの意見や提言の発表、作文や絵画などの作成にあたりまして、寄り添い、お力添えをいただきました皆様に心から感謝申し上げます。